

日本史B

第4問 問4 「20」

史料の書き手の視点から考察する問題で、各学力層で差がついた

問4 下線部◎に関連して、アラタさんは次の史料2を使い、この時期の幕政に対する評価についての説明文を作成した。アラタさんが作成した後の説明文中の空欄 ア イ に入る語句の組合せとして正しいものを、後の①～④のうちから一つ選べ。 20

史料2

又、今年も春より雨多く、洪水せし国もありしかど、本立て道行はるゝのならひにて、朝に賢者(注1)をあげ給へば、聞人さらに恐怖せず、殊に又、五穀のみのり近年の豊作と申触侍るにより、万民泰山(注2)による心地してけり、賤きたとへに、雨降て地かたまる、といへるが如く、若今度の騒動(注3)なくば、御政事は改るまじき、など申人も侍りぬ。

(杉田玄白「後見草」)

(注1) 賢者：松平定信のこと。 (注2) 泰山：高く大きな山。

(注3) 今度の騒動：1787年5月の江戸の打ちこわしのこと。

説明文

老中田沼意次は、商人の力を利用しながら幕府の財政再建に取り組み、ア を奨励するなど長崎貿易にも力をいれた。1786年8月、將軍の死をきっかけに田沼は失脚したが、田沼に近い人々によって政策は引き継がれた。しかし翌年5月、江戸で打ちこわしが激化すると田沼派は失脚し、松平定信が老中に就任した。杉田玄白は、打ちこわしが激化したことが定信の老中就任につながったとみて、今後の幕政に イ を抱いている人もいる、と記している。

- | | | | | |
|---|---|-----------|---|----|
| ① | ア | 生糸や絹織物の輸入 | イ | 期待 |
| ② | ア | 生糸や絹織物の輸入 | イ | 懸念 |
| ③ | ア | 銅や俵物の輸出 | イ | 期待 |
| ④ | ア | 銅や俵物の輸出 | イ | 懸念 |

第4問 問4 「20」

正解率	37.5%
SS70～75	86.6%
SS65～70	77.3%
SS60～65	64.0%
SS55～60	53.6%
SS55～50	41.6%
SS50～45	29.2%

2023年度第3回ベネッセ・駿台大学入学共通テスト模試

「日本史B」

受験者数:	81,237人
平均点:	50.8点
標準偏差:	18.2

日本史B

第4問 問4 「20」

史料の書き手の視点から考察する問題で、各学力層で差がついた

結果分析

第4問の問4は、史料と説明文から杉田玄白が描写した世相を読解し、幕政に対する玄白の評価について考察する問題で、各学力層で差がつかれました。

史料のなかの「賢者」や「雨降て地かたまる」などの表現から、玄白が老中をどのように評価しているのかを読み取ることができます。

本問では、史料の読解と知識が求められますが、筆者の老中に対する評価が理解できているかで差がついたと考えられます。

指導のご提案

史料問題に取り組む際には、筆者の立場や、いつ頃の史料であるのかといった、史料の読解を助ける情報を収集することが重要です。共通テストでは初見の資料が示されますが、多くの場合、注釈や設問文、リード文などに手がかりとなる情報が書かれています。これから共通テストまでの1か月では、資料で着目すべきポイントにしるしをつけながら読解していくなど、本番を意識した問題演習を重ねることが重要です。

共通テストでは、リード文や年表など、様々な資料のなかに解答の手がかりがあるような、まとめの問題が出されます。どのような形で出されたとしても、適切に情報を取り出せるように、多くの資料問題で演習を重ねることが大切です。